

A photograph taken from the Miyajima Suspension Bridge, looking down its length towards the Miyajima Shrine on Miyajima Island, Japan. The bridge has green metal railings and a wooden deck. In the distance, the shrine's traditional Japanese architecture is visible, surrounded by lush greenery and mountains under a clear blue sky.

今年度2回目の野外
レクリエーションは紅
葉の名所塩原に行きま
した。猛暑の影響で色
づきが心配されたところ
でしたが、旧塩原町の
シンボルである「も
みじ」が赤く美しく色
づき始めていました。
平成11年に作られた
大吊り橋は歩行者専用
の吊り橋として、本州
最大級の全長三二〇m
の長さを誇ります。ワ
イヤーで吊るされた橋
を歩くとゆらゆら揺れ
てドキドキしましたが
勇気を出して向こうま
で渡ることができまし
た。

ランチは紅葉を眺め
ながらレストロな雰囲気
のレストランで、地元
の食材を使った御膳をい
ただきました。心もお
腹も満たされて大満足
の一日でした。



Illustration of two gnomes hanging from a branch and a large autumn tree.



毎年宇都宮中央ライオンズクラブさんのご厚意により、若草作業所と合同での日帰り旅行にご招待いただいております。今回は、令和6年10月に売店やレストランなどをリニューアルオープンした「千本松牧場」へ行つてまいりました。牧場ではキャンドル作りを体験したり、新しくなったレストランでお食事したり、また牧場で欠かせないソフトクリームを食べたりして過ごしました。



A photograph of three young men standing outdoors. The man on the left is wearing a dark jacket and jeans, holding a small object. The man in the center is wearing a dark jacket and pants, with his hand near his face. The man on the right is wearing a dark jacket with white stripes on the sleeves and dark pants. They are standing on a dirt path with trees and a fence in the background.

色鮮やかな紅葉と吊り
橋の絶景にうつとり
（令和7年10月30日）

地域活動支援センター雀の宮作業所
ちゅんちゅん通信

令和8年2月27日 発行第49号
社会福祉法人 宇都宮市社会福祉協議会
地域活動支援センター 雀の宮作業所
〒321-0133 宇都宮市新富町15-25
TEL/FAX (028) 655-4091

今年も「歳末たすけあい募金」の配分金を活用し、一年間お世話になった地域の方やボランティアさんをお招きし「年末おたのしみ会」みんなで歌ってクリスマス」を開催しました。

今回はソプラノ歌手の石井真由美さん・ピアノの佐藤由弥子さんにご協力いただき、定番のクリスマスソングのほか、デイズ・二の一曲やご当地ソング「かんびようの歌」など様々なジャンルの歌を聴き、歌い、身体を動かし、音楽を思う存分楽しみました。

最後はサプライズ企画！作業所職員のハンドベル演奏！緊張のあまりちよつぱり失敗しました。会場から笑いと温かい拍手をいただきました。



年末年始はウキウキ♪
毎年恒例のお楽しみイベントを開催



▲今年も2作業所合同で楽しい年明け！

年末年始もう一つの恒例行事は若草作業所と合同の「新年のつどい」。今年も宇都宮市総合福祉センターで開催しました。この日はまだ小正月前。お正月気分をさらに堪能しようとして福笑いやカルタなど、昔懐かしいお正月遊びを楽しみました。

また、今年の目標を一人ずつ順番にみんなの前で発表し、新年のスタートに決意を新たにしました。

若草作業所と一緒に
賑やかなお正月
(令和8年1月6日)

【所長 富井浩枝】

▼新たなステージへ挑戦するため就労施設へと卒業した仲間作業所に戻ってくることを励みに病と闘い逝去した仲間。令和七年度はかけがえのない仲間と様々な「別れ」がありました。▼仲間が少し減ってしまったけれど、仕事は次々と受注をいただく中で、みんなそれぞれがギアを上げて作業をこなす。これまで5日かかっていた仕事が3日で行えるようになる。作業のミスに気づき報告できるようになる。さらにお手伝いのボランティア・保護者さんに助けていただきながら、日々の作業が滞ることなく進みました。

▼何より素晴らしいのは、みんなの頑張り！やってやるぞという意気込みです。私たちスタッフはみんなのやる気を精一杯応援していきたいと思えます。